



2022年7月分

 TOKYO CUSTOMS HANEDA BRANCH
 東京税関羽田税関支署


羽田空港貨物取扱量

総取扱量は6ヵ月連続減、積込量は7ヵ月連続減、取卸量は5ヵ月連続減



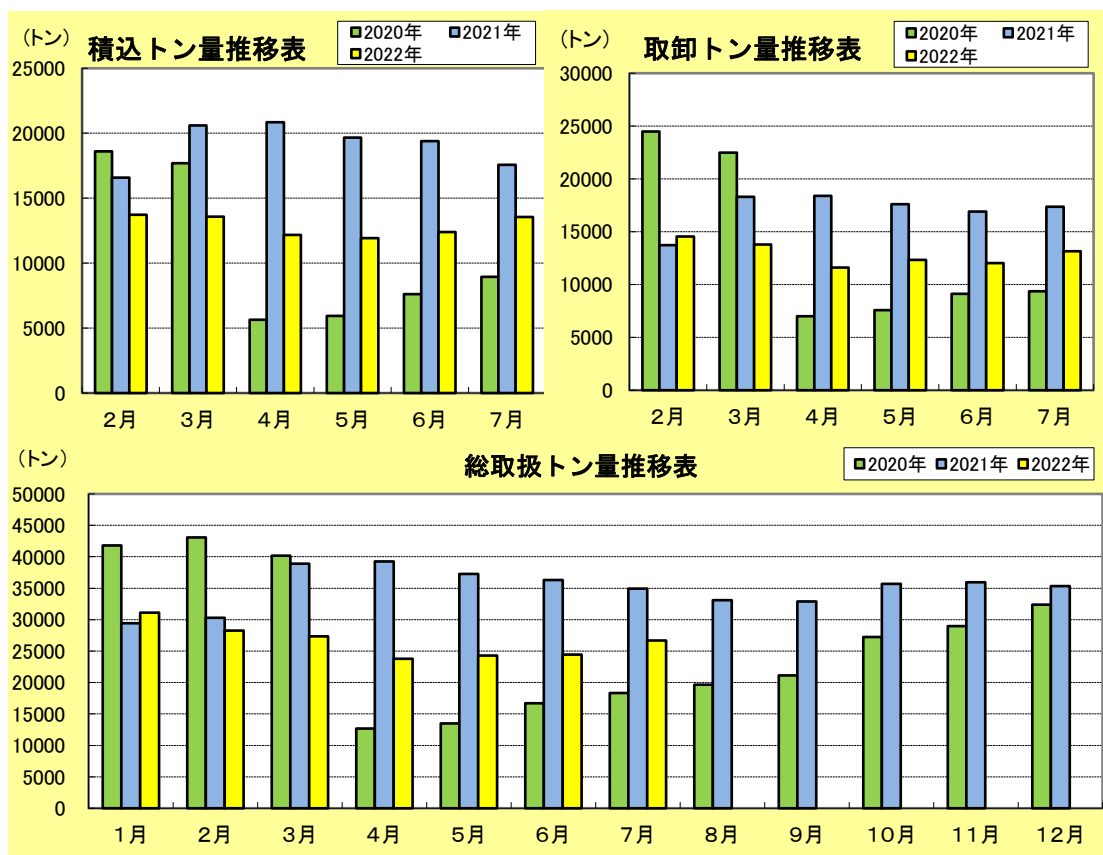
概要

2022年7月の羽田空港における国際航空貨物取扱量は、

総取扱量 26,690トン(前年同月比 23.6%減)

積込量 13,548トン(同 22.9%減)

取卸量 13,142トン(同 24.3%減)

 となり、前年同月比でみると、総取扱量は6ヵ月連続、積込量は7ヵ月連続、
 取卸量は5ヵ月連続でマイナスとなった。


1. 本資料を他に転載するときは、東京税関(羽田税関支署)の資料による旨を注記してください。
2. 本資料の問い合わせは、東京税関羽田税関支署業務管理課(TEL050-5533-6971)まで。



地域別通関動向

● 輸出力

羽田空港から輸出された貨物量を通関地域別にみると、

羽田地域通関 937トン(前年同月比 18.1%減、シェア 12.5%)

その他地域通関 6,559トン(同 19.8%減、同 87.5%)

となり、前年同月比でみると、羽田地域通関は5ヵ月連続、その他地域通関は6ヵ月連続でマイナスとなった。

● 輸入量

羽田空港で輸入された貨物量を通関地域別にみると、

羽田地域通関 3,788トン(前年同月比 27.1%減、シェア 47.1%)

その他地域通関 4,261トン(同 19.5%減、同 52.9%)

となり、前年同月比でみると、羽田地域通関、その他地域通関ともに、5ヵ月連続でマイナスとなった。



仮陸揚貨物動向

仮陸揚貨物を積込、取卸別にみると、

積込量 6,052トン(前年同月比 26.6%減)

取卸量 5,093トン(同 26.0%減)

となり、前年同月比でみると、積込量は8ヵ月連続でマイナス、取卸量は7ヵ月連続でマイナスとなった。



生鮮・ドライ取卸貨物動向

2022年7月の羽田空港で輸入された貨物(羽田地域通関分)を生鮮貨物及びドライ貨物別にみると、

生鮮貨物 945トン(前年同月比 21.1%減、シェア 24.9%)

ドライ貨物 2,843トン(同 28.9%減、同 75.1%)

となった。

生鮮貨物の内訳は、野菜等8.8%(前年同月比61.7%減)、水産物14.2%(同53.1%減)、果物46.9%(同10.9%増)、植物(切花等)13.7%(同7.5%増)等となった。

羽田空港取卸貨物の生鮮・ドライ貨物の内訳

| | 2022年7月 | | | 2021年7月 | | |
|-----------|---------|-------|--------|---------|--------|--------|
| | トン | 前年同月比 | 構成比 | トン | 前年同月比 | 構成比 |
| 羽田空港輸入貨物量 | 3,788 | 72.9% | 100.0% | 5,194 | 158.1% | 100.0% |
| 生鮮 | 945 | 78.9% | 24.9% | 1,197 | 256.3% | 23.0% |
| ドライ | 2,843 | 71.1% | 75.1% | 3,997 | 141.8% | 77.0% |